

# 令和 6年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課  
 担当名：総務・計画・団体担当  
 内線：3294

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
S146	県民の理解を深める手話普及啓発事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者福祉啓発推進費			
事業期間	令和 5年度～	根拠法令	埼玉県手話言語条例第7条			針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 10	
						分野施策	0703	障害者の自立・生活支援		SDGsターゲット 10-2, 10-3, 10-4	
1 事業概要				5 事業説明							
<p>手話を知っている人は多いが、手話ができる人は少ないため、手話への理解促進を図り、手話ができる人を増やすことが必要。そのため、市町村による地域の手話普及の取組を促進するとともに、広域行政を担う県も県民全体や事業者に対する手話普及の取組を推進する。</p> <p>ア 手話アドバイザー派遣事業 674千円                      イ 手話あいさつ100%運動 3,310千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 手話アドバイザー派遣事業 674千円                      聴覚障害者団体と連携し、これから手話普及の取組を始める市町村に手話アドバイザーを派遣する。市町村では、地域の聴覚障害者団体とも連携し、手話言語条例の制定とともに、地域における手話講習会や手話イベントの開催等の事業を実施する。</p> <p>イ 手話あいさつ100%運動 3,310千円                      県が聴覚障害者団体、市町村、学校等と連携し、広報、各種イベント、授業等で「手話あいさつ」を広く県民に周知し、「おはよう」「こんにちは」などの簡単なあいさつの手話ができるようにすることで、県民の手話への関心を高め、より一層の手話普及を促進する。</p> <p>(2) 事業効果                      障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」の実現に寄与する                      手話の普及と手話を使用しやすい環境の整備の促進に寄与する                      【活動指標(アウトプット)】手話アドバイザー派遣18回(9市町村×2回)、手話を広めるためのクリアファイルを作成・配布、手話体験会・手話交流会の開催                      【成果指標(アウトカム)】手話言語条例制定市町村の増加、手話ができる県民の増加</p>							
2 事業主体及び負担区分											
県10/10											
3 地方財政措置の状況											
なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員											
9,500千円×0.7人=6,650千円											
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比		
決定額	3,984						3,984	4			
前年額	3,980						3,980				

## 事業内訳書

事業名	県民の理解を深める手話普及啓発事業		
単位事業名	手話アドバイザー派遣事業	予算額	674千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	674	△306	
合計	674	△306	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	40	△60	委託先、派遣先との打合せ 2人×10回分
委託料	634	△246	手話アドバイザー派遣業務委託
合計	674	△306	

単位事業名	手話あいさつ100%運動	予算額	3,310千円
-------	--------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3,310	310	
合計	3,310	310	

単位事業名	手話あいさつ100%運動	予算額	3,310千円
-------	--------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	318	318	交流会謝金 1回分、体験会謝金 1回分
旅費	48	△76	委託先、関係団体との打合せ 10回分
需用費	68	68	消耗品、チラシ印刷代
委託料	2,816	△60	クリアファイル作成業務委託
使用料及び賃借料	60	60	手話交流会、手話体験会会場使用料 2回分
合計	3,310	310	